

# 病害虫発生予察情報

## 令和6年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 8月予報

### 【 水稲 】

斑点米カメムシ類 \* 病害虫発生予察注意報第2号 (R6.7.19付) 発表

7月中旬に実施した水稲一斉調査では、畦畔のすくい取り調査で本虫の発生が確認され、水田内でイネ科雑草が出穂している地点では本虫の侵入が確認されています。また岐阜西濃および中濃地域の一部ほ場ではイネカメムシの発生が多く確認されています。水稲の出穂直前および出穂後の畦畔除草は本虫を水田内に追い込む恐れがあるため、出穂10日前までに実施するとともに、水田内のイネ科雑草は出穂前に確実に除去してください。

### 【 果樹 】

果樹カメムシ類 \* 病害虫発生予察注意報第1号 (R6.5.21付) 発表

予察灯への誘殺数は中濃および東濃地域で多く、特にチャバネアオカメムシの誘殺数が多く確認されています。今後、新世代が発生し、スギヤヒノキ毬果などのエサが不足すると果樹園に飛来する可能性があるため、十分な注意が必要です。ほ場に飛来が確認された場合、直ちに防除を実施してください。

### ○主な病害虫の発生時期及び防除時期 (8月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
水稲	生育(ハツシモ)	並		〈幼穂形成期〉					・7/13 調査(6/10 田植：農業技術センター)
	生育(コシヒカリ)	並	穂揃						・7/13 調査(5/10 田植：農業技術センター)
	穂 いもち	やや多	初発生 (出穂以降)						・穂いもち 穂ばらみ期~穂揃期に防除を実施する。
	紋 枯 病	並	〈発生最盛期〉						・ <u>紋枯病</u> 発生を確認したら防除を実施する。
	ニカメイガ	少			〈第1世代成虫〉				・ <u>セジロウカ</u> 8月上旬に幼虫が1株当たり5頭以上いる場合は防除を実施する。
	セジロウカ	多	〈成虫最盛期〉						・ <u>ツマグロヨコバイ</u> 発生を確認したら防除を実施する。
	トビイロウカ	やや多					〈幼虫・成虫最盛期〉		・ <u>斑点米カメムシ類</u> ジテフラン粒剤による防除は出穂7~10日後に散布するのが効果的である。ただしイ初ムシに対しては出穂5~10日前の散布が効果的である。
	ツマグロヨコバイ	並		〈第3世代幼虫〉					
	斑点米カメムシ類	多	本田への侵入 (出穂以降)						
	防除適期		穂いもち・紋枯病：穂ばらみ~穂揃期に同時防除を実施する。 斑点米カメムシ類：粒剤は出穂前~穂揃期、散布剤は穂揃期およびその7~10日後。(右欄を参照)。						
大豆	ハスモンヨトウ	多			〈発生量増加〉				・ <u>ハスモンヨトウ</u> 発生に応じて防除を実施する。
	防除適期								
かき	岐阜西濃 中濃 ハマキムシ類	多			〈第3世代幼虫〉				・ <u>ハマキムシ類</u> 幼虫発生初期の防除を徹底する。
	カキノヘタムシガ	並	第2世代幼虫					・ <u>カキノヘタムシガ</u> 第1世代成虫 発蛾最盛期 7/14 (平年 7/18：岐阜市) ※防除適期は発蛾最盛期から3~10日後	
	防除適期		▲ハマキムシ類(岐阜西濃) ハマキムシ類(中濃)▲						
	果樹	カメムシ類	多	〈主に新世代成虫〉					
茶	ハマキムシ類	少		〈第3世代幼虫〉					・ <u>ハマキムシ類</u> 幼虫発生初期の防除を徹底する。
	防除適期		▲ハマキムシ類						
野菜	灰色かび病	並							・薬剤耐性および抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避ける。
	ハスモンヨトウ	多			〈発生量増加〉				・ <u>灰色かび病</u> 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	タバコガ類	多			〈発生量増加〉				・ <u>ハスモンヨトウ</u> 幼虫発生初期の防除を徹底する。
	コナジラミ類	多							・ <u>タバコガ類</u> 幼虫は新梢の隙間等に生息するため十分量の薬液を丁寧に散布する。
	アザミウマ類	並							
	ハダニ類	多							

注1) ▲、▲~▲：防除適期 注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域  
注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

### タバコガ類

中濃および東濃地域に設置したフェロモントラップへの誘殺数は平年より多く推移しており、ナスやトマトでは幼虫による食害が確認されています。本虫は若齢幼虫期の防除が最も効果が高いため、ほ場内をよく確認し、若齢幼虫が認められたら直ちに防除を実施してください。

### コナジラミ類

トマト施設周辺屋外に設置した黄色粘着板での誘殺数は、平年よりも多く(平年比4.1倍)推移しています。タバココナジラミはトマト黄化葉巻病やトマト黄化病、キュウリ退緑黄化病などのウイルス病を媒介するため、育苗時の防除を徹底するとともに、防虫ネット等の隙間や破れを補修し、施設内への侵入防止対策を実施してください。

### いもち病(葉いもち)

BLASTAM(アメダスを利用した葉いもち発生予測システム)によると、7月上旬に多くの地域で感染好適条件が確認されています。山際等の日照条件の悪いほ場では葉いもちの多発により、ずり込み症状の発生が認められるほ場もあります。葉いもちの発病が認められるほ場では穂いもちの発生が懸念されるため、出穂期の防除を実施してください。

表1 日付	2024年7月 BLASTAMによるいもち病の発病条件													病害虫防除所			
	岐阜	大垣	愛西 西海 津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那			
7/1	-	○	-	●	-	-	●	-	-	-	●	○	●	●			
7/2	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-			
7/3	-	●	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	-	●			
7/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/6	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-			
7/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/11	○	○	○	-	-	-	▲	-	-	○	●	○	▲	▲			
7/12	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/14	▲	▲	▲	-	▲	-	▲	●	●	▲	●	-	-	-			
7/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-			
7/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●			
7/17	-	-	▲	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/18	-	○	▲	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲			
7/21	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7/25	○	○	○	▲	○	▲	▲	-	-	○	-	-	-	-			
7/26	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	▲	-	▲	▲			
7/27	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-			
7/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	-			
7/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			



葉いもち(停滞型病斑)

<凡例>

- △ : 準好適条件(湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満)
- ▲ : 準好適条件(湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上)
- : 準好適条件(湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15~25℃の範囲外)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い)
- : 好適条件(湿潤時間中の平均気温が15℃~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある)
- : 好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄 : 欠測値があるため判定不可能

※感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間(およそ5~10日)を経て発病します。  
 ※感染好適条件が連続して現れると、発病の可能性が高まりますので、注意して下さい。

### 6月~8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 7月25日発表)

向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並か多いと予想されています。暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767



岐阜県病害虫防除所  
トップページ  
二次元バーコード